

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年4月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年4月6日～25日
- 調査対象 200社
- 回答企業 112社
- 回収率 56.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の4月の状況を見ると業況DIは、前月より8.9ポイント悪化の▲24.1となった。

2017年9月以来8ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲19.6、当月に比べ4.5ポイント改善を見込んでいる。

業種別で見ると、建設業、卸売業、小売業、サービス業で改善が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2018年5月～7月
業況	▲14.7	▲6.7	▲11.3	▲20.0	▲15.2	▲24.1	▲19.6
売上	▲0.9	6.7	2.8	▲2.8	4.7	▲18.7	▲8.0
採算	▲13.8	▲7.7	▲17.8	▲20.0	▲12.4	▲22.4	▲15.2
仕入単価	▲39.5	▲33.3	▲41.1	▲41.8	▲41.9	▲33.0	▲33.9
従業員	32.1	35.2	30.8	22.7	29.5	32.1	33.0
資金繰り	▲11.0	▲2.9	▲5.6	▲10.9	▲11.4	▲8.0	▲6.2

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2018年5月～7月
建設	0.0	3.7	▲3.7	▲22.2	▲11.1	▲19.3	▲11.5
製造	▲4.4	0.0	▲7.4	▲21.8	▲16.0	▲29.2	▲29.2
卸売	▲13.6	▲13.1	▲19.0	▲20.0	▲22.7	▲23.8	▲19.0
小売	▲46.6	▲26.7	▲33.3	▲31.3	▲13.3	▲23.5	▲17.6
サービス	▲25.0	▲6.3	0.0	▲5.3	▲12.5	▲25.0	▲20.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼材（鉄筋等）の金額高騰により、設計単価と大きくひらきがあり、逆ざやとなっている。（総合工事） ・仕入単価の上昇が気になります。（建築） ・今年度は雇用面では新卒で大学卒 4 名、高卒 3 名の採用が出来た。（総合工事） ・仕入価格の高騰不安。人材不足。（建築） ・社員（技術系）不足と労働時間削減。（設備工事） ・土木関連の付帯工事は減少の一途である。旭川近隣では減少が続くと思われる。（設備工事）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・賃上げを 4 月と 10 月に分けて実施する。（金属鉄工窯業） ・印刷物の減少。経費縮小、または削減なのか仕事が減ってきております。また、インターネット、タブレット、スマホ等の端末の普及定着が早い為デジタル化に押され紙媒体が減っている現状です。（印刷出版） ・毎年この時期は受注減。時入れアルミ価格は 1 年ぶりに価格上昇が上げ止まり。但し、鋼材、ファスナー関連、外注表面処理費は上昇。（金属鉄工窯業） ・3月までの繁忙が終り、一段落の感あり、仕入単価の上昇と仕入材料の不足が目立ってきており、今後の収支懸念される。（家具木材製造） ・原材料の高騰（野菜）が一段落し、下げ止まりの傾向（食料品製造）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・4 月度の業況は前年度と同等である。（機械鋼材卸） ・仕入価格の変動に傾注に迅速に対応すること。業界の変遷を読み、対応、対策する必要。（その他・石油鉱物） ・特段の変化なし。（飲食料品卸）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足の問題が今後も続く・・・。（食料品） ・売り場改修費用の増加(食料品) ・先行き不透明な中、設備投資をして採算が合うのか思案中。（衣料品） ・従業員の不足が解消されない。（その他小売・機械器具） ・施設・設備の老朽化（自動車販売） ・4 月に入りまだまだ天候が不安定な中、雪も完全に解け、春物を見に来客される顧客が増えてきました。フリーで来店されるお客様の売上はなかなか見込むことが出来ませんので、顧客の求める商品を細かくチェックし売上につなげていきたいと思えます。（衣料身回品）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に向けて、他社との差別化を図る為に最新機材を導入した。（その他・ソフトウェア業） ・4 月は前年よりインバウンドが減少（団体）。売上は前年並の状況。料飲の不調と経費が前年より増えた事により、総合判断は悪化。3ヶ月予測は宿泊が好調の見通しであるが、経費面（人件費、他経費）が増え、全体では前年並の見込み。（ホテル旅館） ・食材の値上がりかじわじわと経営に響いてきている。この冬は過酷であった為修繕費がいつもの年の倍かかる。（飲食） ・事故在庫台数が大幅に減少した。（整備） ・従業員公休増加に伴う人員増で固定費増加。（ホテル旅館） ・従業員の不足。（その他・建物サービス） ・送別会時期の売上は上昇傾向だったが、歓迎会時期の売上は前年並み。（飲食） ・新規設備投資資金。売上停滞。（理美容クリーニング） ・4 月に入り、旭山動物園が春期休み。この休みに旭川市内のホテルのお客様の宿泊客が激減。いかに旭川は動物園への宿泊のお客様が多いか毎年わかります。年間 140 万人の観光客、一ヶ月平均 12 万人近い人達が旭川に来て宿泊して帰るかわかります。4 月のホテルの稼働率割れ？（理美容クリーニング） ・人員不足（ホテル旅館）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI26.9 ポイント悪化、採算 DI4.5 ポイント悪化、仕入単価 DI9.8 ポイント改善、資金 DI15.1 ポイント改善、従業員 DI1.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 8.2 ポイント悪化となった。業種別では、建築 20 ポイント改善、総合工事 17 ポイント、設備・その他 10 ポイント悪化となった。仕入価格の高騰不安、人材不足との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI32.5 ポイント悪化、採算 DI29.4 ポイント悪化、仕入単価 DI10.5 ポイント改善、資金 DI7.9 ポイント改善、従業員 DI0.6 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 13.2 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 7 ポイント、家具・木材 33 ポイント改善、印刷・出版 10 ポイント、金属窯業他 30 ポイント悪化となった。3 月までの繁忙が終り、一段落の感あり。仕入単価の上昇と仕入材料の不足が目立ってきており今後の収支が懸念されるとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI 横ばい、採算 DI3.9 ポイント改善、仕入単価 DI12.3 ポイント改善、資金 DI4.1 ポイント改善、従業員 DI0.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 1.1 ポイント悪化となった。業種別では、繊維・衣服等 50 ポイント、その他 2 ポイント改善、食料品で横ばい、機械鋼材 33 ポイント悪化となった。仕入価格の変動に傾注に迅速に対応すること。業界の変遷を読み、対応・対策する必要ありとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI27.8 ポイント悪化、採算 DI2.4 ポイント改善、仕入単価 DI2.4 ポイント改善、資金 DI4.3 ポイント悪化、従業員 DI2.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 10.2 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品 25 ポイント改善、自動車横ばい、食料品 25 ポイント、その他 25 ポイント悪化となった。人員不足の問題が今後も続くとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI29.1 ポイント悪化、採算 DI18.8 ポイント悪化、仕入単価 DI8.3 ポイント改善、資金 DI8.3 ポイント悪化、従業員 DI6.3 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 12.5 ポイント悪化となった。業種別では、整備業、運送で横ばい、理美容・クリーニング 33 ポイント、ホテル・旅館 17 ポイント、その他 20 ポイント、飲食 33 ポイント悪化となった。食材の値上がり及びわと経営に響いてきている。この冬は過酷であったため修繕費がいつもの年の倍かかるとの声も寄せられている。</p>